

原 著

と畜場に搬入された豚から検出された
Streptococcus suis の疫学的検討

土屋 祐 司[†] 佐藤 貞 雄

浜松市食肉衛生検査所（〒435-0048 浜松市東区上西町986）

（2008年8月8日受付・2009年3月9日受理）

要 約

浜松市と畜場に搬入された豚から検出されたStreptococcus suis 76株について、multiplex PCR法により荚膜合成関連遺伝子および病原関連マーカー遺伝子の保有状況の調査を行ったところ、2005年の中国四川省での大規模発生時に人患者から分離された株と同一のタイプの株が得られた。それらの株について、パルスフィールドゲル電気泳動法、16S rRNAシーケンスおよびMultilocus Sequence Typing法を用いて分子疫学的な解析を行った結果、今回検出された株の中には国内外の人患者由来株と遺伝学的に近縁な株が含まれることが明らかとなり、これらのことから、と畜作業従事者に対するS. suis感染予防対策の重要性が改めて示された。——キーワード：Multilocus Sequence Typing, multiplex PCR法, パルスフィールドゲル電気泳動法, Streptococcus suis 16S rRNAシーケンス。

----- 日獣会誌 62, 563～567 (2009)

[†] 連絡責任者：土屋祐司（浜松市食肉衛生検査所）

〒435-0048 浜松市東区上西町986

☎053-461-9696 FAX053-460-0913

E-mail : nikuken@city.hamamatsu.shizuoka.jp